



秋厚労ニュース

NO1984号

2022年7月13日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

要求討議始まる

2022年秋闘

7月6日、2022年秋闘の要求案のたたき台を各支部へ発送しました。秋厚労の要求は、「こうすればもっと働きやすい職場になる」という経営側への提案。職場や支部で意見を出し合い、たくさんの知恵を集めて、より良い要求にまとめてください。

2022年秋闘要求案のたたき台

【働く人手を増やすことに関する要求案のたたき台】

- ・要員計画達成の見通しを示し、現状以上の人員配置を目指すこと
- ・検査技師について、宿直の人員を確保するために正職員の欠員は正職員で補充すること

【年間手当に関する要求案のたたき台】

- ・秋厚労2022年5月9日付「年間手当要求」に基づいて、年末手当（本俸+調整手当+家族手当+世帯支援手当）を2.0ヶ月（支給日及び基準日12月15日）とすること

【58歳以上の不利益の改善に関する要求案のたたき台】

- ・満58歳以上の在職年数も退職金の算定年数に含めること
- ・満58歳以上の定期昇給を実施すること

【資格手当に関する要求案のたたき台】

- ・適切な医療を提供するための人材育成を目的として、資格手当を創設すること
- ・資格手当の内容は、診療報酬の加算を基準にして検討すること

【指定感染症の対応に関する要求案のたたき台】

- ・指定感染症患者に対応したスタッフに、1日3,000円程度の手当を支給すること

【労働時間管理に関する要求案のたたき台】

- ・ICカードによる出退勤システムの運用についての検証結果等を示すこと

【ハラスメントに関する要求案のたたき台】

- ・ハラスメントをなくすために、より強い対策を示すこと

【年次有給休暇に関する要求案のたたき台】

- ・年次有給休暇について、一人最低7日以上取得するようにすること

【転勤に関する要求案のたたき台】

- ・転勤者には転勤の理由と期間を示すこと

【委託・外注・派遣に関する要求案のたたき台】

- ・治療の要である「食」を担う栄養科、および病院の危機管理の中核である中央監視室について、委託・外注・派遣化構想を断念すること

【臨時職員の労働条件に関する要求案のたたき台】

- ・再雇用職員も含む臨時職員の時給を引き上げること

【被服貸与に関する要求案のたたき台】

- ・看護師の白衣はスクラブとし、ズボンには白ではなく色付きのものとする

新しい要求案「看護師の白衣はスクラブに」

昨年は無かった要求案のたたき台が、2つ。

1つは「看護師の白衣はスクラブとし、ズボンは白ではなく色付きのものとする」と。5月の第3回女性部会で出された「生理の時など、白衣だと汚れが目立って困る」との声から、たたき台へ追加しました。

秋厚労は2019年春闘で「希望する職員について、白衣だけでなくスクラブ等を選べるようにすること」を要求。同年3月14日、団体交渉で経営側は「白衣に限らない」「職種・部門ごと

に、患者さんが他職種と取り違えないよう、統一性をもたせろ」と回答。その後、白衣からスクラブに変

わった職種もあります。看護職場は今も白衣です。

検査の正職員の欠員は正職員での補充求める

もう1つは「検査技師に

ついて、宿直の人員を確保するために正職員の欠員は正職員で補充すること」。7月2日(土)第56回検査科勤務者会議で、「契約上、正職員のみが宿直に入れるが、正職員数が

減り、宿直当番がまわって

くるのが早まった」との声が出され、追加しました。

7月2日(土)第6回中央執行委員会で「たたき台」を作成、6日(水)に各支部へ発送(左表)。9月3日(土)第4回中央委員会で各支部の意見を集約、要求を

賃金に関する提案

政府の看護職員等処遇改善事業補助金を活用し、今年4月、秋田県厚生連は看護業務手当と交替制勤務従事者手当を新設。政府は当

該補助金の財源を10月から診療報酬に組み込み、増額するとされます。

第6回中央執行委員会で「医療はチームで動く。手当も、医療職Ⅲ以外の職種にも反映させるよう要求してはどうか」と提案、各支部で論議

してもらったことを確認。9月には、経営側が手当新設等の案を作ると思われるので、8月18日(木)までに集約します。

医療職Ⅲ以外の賃金を上げる提案

- ・2022年10月より医療職Ⅲの手当を下げないこと
- ・看護職員等処遇改善事業にあたる財源を使い、医療職Ⅲ以外の職種の手当を創設すること